ＳＤＧｓ
未来づくり部門

熊本まちなみトラスト

熊本における歴史的建築および町並みの保存利活用によるまちづくり

【取組み内容】

１）歴史的建造物及び町並みの保存と利活用の推進。

２）補修を要する未指定文化財に対する技術的支援と助言

３）歴史的建築保存を通じたまちづくりに関する市民への広報活動

４）上記に基づく新しい熊本のまちづくりへの参加

旧第一銀行熊本支店

旧上熊本駅

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント	
普遍性	経済的発展の維持と、地域の文化的歴史的アイデンティティの保持継承は現代世界共通の課題で、高齢者と若者双方に継続・発展が期待できる。
包摂性	歴史的建築でも古い民家などの多くは未指定文化財となっているが、その所有者は高齢者が多く、同時に経済的社会的弱者の場合も多い。これらの人々への補助金申請や技術的助言を行なう。
協働性	建物の所有者はもちろん、町並みについては地区住民、自治協議会、地元NPO、商工会議所、公共団体と連携した活動である。一方で、建築家、都市計画家、文化財専門家、大学研究者などと協働した活動でもある。
統合性	直接的には都市の持続的発展を目指すSDGｓ目標11に適合するが，木材資源の有効利用と産業廃棄物減少での環境負荷の低減で、間接的には目標12の生産と消費の持続的発展，目標13の気候変動対策にも適合する。
透明性	ホームページによる公表。機関紙「まちなみトラスト」の発行。理事会の隔月開催。イベント等開催後の理事会での評価。

貢献するＳＤＧｓのゴール